

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

新コーナー「ぴっくあっぷ市町村社協」
新発田市社協「助太刀事業」（2・3面）

- 福祉の現場一県ひとり親家庭福祉連合会
- 新潟で初の「ぼうさいこくたい」

10月号
2025
第878号

絵「ザクロ」 作・新井 里沙（加茂市）
作品よもやまー母が知人からもらってきたザクロを描いた



社会福祉
法人

新潟県社会福祉協議会

<https://www.fukushiniigata.or.jp>

新発田市社協「助太刀事業」

市民の暮らしをお助けします。新発田市社会福祉協議会では「助太刀事業」と題し、訪問健康チェック、ごみ出し、買い物の付き添いなどさまざまなサービスを提供してい

巻頭特集

ます。これまでの実施内容や方法を見直し、誰もが利用しやすくすること、市民に社協の良さを知ってもらい、期待を込めています。

おのおの方、ご利用ください！



新発田市社協「助太刀事業」のメニューは、別表のとおり。高齢者や家族の困りごとだけでなく、子育て世代のニーズに応じた内容が目立ちます。

「メニューの多くはこれまでも行っている事業です。新しいことをゼロから始めるのではなく、既にあ

既存事業を柔軟に

るものを組み合わせ、条件を緩くするなどして使いやすいものにしようと考えました」と事業を担当する地



「助太刀事業」のマスコットキャラクター「助太刀うーさん」

域福祉課主事の石山仁奈子さんは話します。

「助太刀」の事業名は、新発田が生んだヒーロー堀部安兵衛をイメージしていま

す。赤穂四十七士にちなんでメニューの数は47。昨年12月の事業スタートは、討ち入りに合わせました。

社協の賛助会員となっている企業からも協力してもらい、各業者が得意とする分野を業務委託しているものもあります。社協では「企業も目を向ける取り組みにしたい。助太刀事業をきっかけに、多くの市民から社協を知ってもらいたい」と、市内外に事業内容をPRし、利用を呼び掛けています。

新発田市社会福祉協議会「助太刀事業」のメニュー（1～23）

内容	料金（円）	内容	料金（円）
① 看護師による訪問健康チェック（月1回）	5,000	⑬ 災害用持ち出しあんしんパック・角型リュック式	4,000
② 看護師による訪問健康チェック（年1回）	5,000	⑭ 通院同行（1回 4時間程度）	1時間 2,500
③ 看護師による訪問健康チェック（年4回）	20,000	⑮ 食料品、日用品購入同行（1時間半程度、月1回）	5,000
④ 話し相手や送付書類等確認のお手伝い（月1回）	3,000	⑯ 食料品、日用品購入同行（1時間半程度、月2回）	10,000
⑤ 話し相手や送付書類等確認のお手伝い（月2回）	6,000	⑰ 食料品、日用品購入代行（1時間半程度、月1回）他の有料サービスとの併用のみ	1,500
⑥ 介護認定等に関するご相談	他専門事業所へ紹介	⑱ 市内大型ショッピングセンター買い物同行（2時間程度）	6,000
⑦ 在宅介護、デイサービスセンター利用に関するご相談	他専門事業所へ紹介	⑲ 市内家電量販店買い物同行（2時間程度）	6,000
⑧ 成年後見制度に関するご相談	他専門事業所へ紹介	⑳ 市内外食同行（2時間半程度、食事代別途）	7,000
⑨ 成年後見制度申請に関するご相談	他専門事業所へ紹介	㉑ 市内観光・美術館等鑑賞（2時間程度、チケット代別途）	5,000
⑩ あんしんコールサービス（月1回）	500	㉒ 市内コンサート・劇等鑑賞（2時間程度、チケット代別途）	5,000
⑪ あんしんコールサービス（月2回）	1,000	㉓ 市内イベント・体験会等参加同行（2時間程度、参加費別途）	5,000
⑫ 災害用持ち出しあんしんパック・円柱型リュック式	2,000		

人気ナンバーワンは「やさしいお弁当」

新発田市社会福祉協議会の「助太刀事業」で人気が高いのは、弁当給食サービス「やさしいお弁当」③③Ⅱ。次いで、社協スタッフが電話をして安否確認したり話し相手になったりする「あんしんコール（月1回）」⑩⑩⑩などです。

「やさしいお弁当」と「あんしんコール」を利用する80代の一人暮らしの男性は「お弁当を毎週楽しみに待っています」と喜び、「あんしんコール」では終活相



「あんしんコール」を担当する新発田市社協のスタッフ

「お試しパック」返礼品にも「成果が出るのはこれから」

談もしていたそうです。

新発田市社協の弁当給食サービスはこれまで高齢者が対象でしたが、「助太刀」で子育て世帯にも広げました。「夕食を作る時間を少しでも、子どもとのふれあいに使ってもらいたい」と社協では考えています。

また、持ち家率が高い新発田の土地柄に合わせ、仏壇・神棚じまいなどに付随する難題への対応を盛り込んだのも特色です。

新しい取り組みとして、訪問健康チェックやLINE電話などメニューをいくつか組み合わせ、3カ月間限定で提供する「お試しパック」も3種類用意しています。これらは新発田市のふるさと納税の返礼品にもなっています。社協では

「遠方に住む子どもさんが市内に住む高齢の親に親孝行をする。助太刀」を社協がしようと考えた。お試しを経てまたサービスを継続して利用したい方には、47メニューの中から対応します」とアピールしています。

ただ利用件数は、最も多い「やさしいお弁当」で8月末で延べ10世帯にとどまっています。「問い合わせはあるので真価はこれから。新たな視点での挑戦になります。社協の事業ということ

が安心感にもつながると思うので、まだまだ広がると思います」と、担当の石山さんは力を込めました。

新コーナー「ぴっくあつぷ市町村社協」では、新潟県内の市町村社会福祉協議会にスポットを当て、ユニークな取り組みや課題などを随時紹介します。

新発田市社会福祉協議会「助太刀事業」のメニュー（24～47）

	内容	料金（円）		内容	料金（円）
24	緊急時の自宅備蓄品や内容等の確認（年1回）	3,000	36	旬の生花お届け（1回）他の有料サービスとの併用利用のみ	3,000
25	住宅用火災報知器の動作確認（年1回）	3,000	37	断捨離のお手伝い（居住宅のみ。2時間程度）	6,000
26	財産に関する重要書類や印鑑等のお預かりサービス（1カ月）	1,500	38	季節の衣替え、寝具等入れ替えのお手伝い（2時間程度）	6,000
27	簡易な書類のお預かりサービス（私の人生ノート等）	1,500	39	大物ゴミ出し 他の有料サービスとの併用利用のみ	要相談
28	STOP 特殊詐欺！ 固定電話装置貸出サービス（1カ月）	200	40	ゴミ出し（週2回） 他の有料サービスとの併用利用のみ	3,500
29	映像撮影（15分程度）・LINE送信（月1回または年1回）	3,000	41	着物、和装小物など引き取り 他の有料サービスとの併用利用のみ	要相談
30	映像撮影（15分程度）・LINE送信（年4回）	12,000	42	出張理容・美容室 他の有料サービスとの併用利用のみ	3,000
31	LINE電話での会話（月1回または年1回）	3,000	43	居住宅の除草作業 他の有料サービスとの併用利用のみ	要相談
32	LINE電話での会話（年4回）	12,000	44	仏壇じまい等のご相談 他の有料サービスとの併用利用のみ	要相談
33	やさしいお弁当（週1回）	400	45	新潟市中央区内の観光施設・美術館等鑑賞（6時間程度）	15,000
34	旬の和菓子お届け（1回）他の有料サービスとの併用利用のみ	2,000	46	新潟市中央区内コンサート・演劇等鑑賞（6時間程度）	15,000
35	旬の果物・野菜お届け（1回）他の有料サービスとの併用利用のみ	2,000	47	新潟市中央区内映画鑑賞（6時間程度）	15,000

福祉の現場

—福祉の現場で働く人たちに
思いを聞きました—

坂井 忍さん



新潟県ひとり親家庭福祉連合会
新潟県・新潟市ひとり親家庭就業・
自立支援センター
就業支援員

新潟市中央区上所2-2-2
新潟ユニゾンプラザ3階
☎ 025 (281) 5587

事務所

一緒に悩み自分も成長

ただ、近年は父子家庭も徐々が増えてきたことなどから、時代に合わせようと「母子寡婦」を今回「ひとり親」に改めました。「会の名前が変わって印象がよくなったという声も聞きます。父子家庭も利用しやすくなるきっかけにできればいいと思っています」と坂井さんは改名の効果に期待を込めます。

日々さまざまな相談に応じる中で強く感じるのは「正解がないことの難しさ」です。「相談者がよりよく生活できる方法を暗中模索で考えているのですが、それを受け入れられるかどうかは人によってさまざまです。こちらの提案は果たして適切だったのか。悩みが解消されない場合にはどう持っていくべきなのか。反省を繰り返す毎日です」

でも、だから

こそ、無事就職できたと連絡をもらったり、会のことを思い出して再び相談に来てくれたりした時の喜びは大きいそうです。

ひとり親家庭や離婚を考えている人が増えている中、「気兼ねなく相談できるムードづくりに努め、生きづらさを感じる人のための場でありたい。私も考えながら成長していきたいです」と力強く話していました。

新潟県ひとり親家庭福祉連合会は、県と新潟市の委託事業として、ひとり親家庭や離婚を考えている人たちの対象に仕事や生活、養育費などさまざまな相談に乗ったり、寄付金などからバスツアーやスキー、バーベキューなど交流の場を設けたりして支援をしている組織です。無料の職業紹介も行っています。令和6年度は約600件の相談を受けました。

利用することが増えてくれればと思っています」と坂井さんは話します。

連合会は今年の6月、「県母子寡婦福祉連合会」という名称から現在の名前に変わりました。

旧名称にあった「寡婦」は、古くは戦没者未亡人を指しましたが、現在は法律上「婚姻関係にあったパートナーと死別したり離縁したりした後、再婚せずにいる女性」「夫の生死が不明の女性」と定義されています。



第65回新潟県ひとり親家庭福祉大会の「コマ」(7月27日・新潟市)

認知症のこと、ひとりで悩んでいませんか? ~お気軽にご相談ください~

新潟県認知症
コールセンター

相談電話

025-281-2783

にんじょうなやみ

【所在地】〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階(来所相談も可)

【相談時間】月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00

「人と人、世代をつなぐ地域共生社会の実現のために」をテーマに、「福祉・介護・健康フェア2025 in 新潟」が11月8日、新潟市中央区鐘木の新潟市産業振興センターで開かれま



昨年「福祉・介護・健康フェア in 新潟」の様子。福祉施設の出展などが人気を呼んだ

福祉・介護・健康フェア2025 in 新潟

11月8日
新潟市産振センター

す。講演や体験イベント、商品紹介、農福マルシェなど多彩なメニューが予定され、約5千人の参加を見込んでいます。

主催は新潟日報社、新潟県社会福祉協議会、新潟市社会福祉協議会。メインステージでは、料理愛好家でシャンソン歌手の平野レミさんや映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」を監督した信友直子さんらによるトークが繰り広げられます。企業や団体なども出展し、「歯の健康・口腔ケア」「生活支援」「介護」などテーマ別に商品やサービスを紹介します。このほか福祉、介護、健康に関する講演やセミナーも開かれます。

同時開催事業として、子どもを対象にした「介護士のお仕事体験」や介護の就職相談、農業に取り組んでいる障がい者就労施設による農福連携マルシェ、福祉の店「パレット」周年祭など、さまざまなプログラムが行われます。

第75回新潟県民福祉大会 11月6日、魚沼市で開催

身体障害者福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行75周年、知的障害者福祉法施行65周年を記念して「第75回新潟県民福祉大会」(主催：県、県社会福祉協議会、県共同募金会、魚沼市、魚沼市社会福祉協議会)を開催します。

社会福祉功労者を表彰する式典と、小竹向原内科・糖尿病内科クリニック院長の石井博尚氏を講師にお迎えし、記念講演を行います。



昨年の県民福祉大会

- 期日：令和7年11月6日(木)
- 場所：魚沼市響きの森文化会館
- 内容

- ▶ 式典
社会福祉功労者に対し県知事表彰、県社会福祉協議会長表彰、県共同募金会長表彰を行います。
- ▶ 記念講演
小竹向原内科・糖尿病内科クリニック院長の石井博尚氏を講師にお迎えし、ご講演をいただきます。

- 問い合わせ
新潟県社会福祉協議会 総務管理課

- ▶ 電話：025-281-5520
- ▶ ホームページ：<https://www.fukushiniigata.or.jp>



県社協 HP
こちらから

新潟県社協 検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン
保険金の種類			
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円
		外来の手術	32,500円
	通院保険金日額		4,000円
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		× ○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

商品パンフレットは
コチラから(ふくしの保険
ホームページ)

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

快適な介護をサポート

ユニゾンプラザ1階「アミエル」10周年

おしゃれな品ぞろえに力

「時代の変化取り入れたい」

新潟市中央区上所2の新潟ユニゾンプラザ1階にある健康・介護用品と生活雑貨の店「アミエル」は、この10月で開店10周年を迎えました。1カ月間、「生誕祭」と銘打って、フェアやさまざまなイベントを開催しています。



開店10周年を迎えたアミエルユニゾンプラザ店



おしゃれで機能的な商品が並び靴コーナー

「アミエル」ユニゾンプラザ店は、介護用品の店としては県内有数の広さがある。

り、靴、洋服、ノルディックウォーク用品などを豊富にそろえています。生誕祭では足の相談会や足底計測会（いずれも18、19日）、ノルディックウォーク体験会（19日）や特売などが行われます。

八木野美砂緒店長によると、10年の間にお客の代わりが進み、介護される側も「おしゃれに着こなしたい」というニーズが高くなってきたことから、ここ3、4年は介護機能を持つつつもファッション性を重視した靴や洋服を増やしました。

また、SNSによる発信にも力を入れているそうです。

「時代の変化を取り入れて、快適に介護ができるような商品をこれからも長く提供し続けていきたい」と八木野店長は話しています。

アミエルユニゾンプラザ店の問い合わせは0120（249）408へ。

「福祉にいがた」と「オアシス 福祉にいがた」合併号、広告募集

新潟県社会福祉協議会は機関誌として「福祉にいがた」を毎月発行しています。このうち8月、12月、3月は、長寿社会振興を目指す総合情報誌「オアシス 21」と「福祉にいがた」の合併号です。県社協では、ここに掲載する広告を募集しています。料金は別表のとおりです。

発行部数は「福祉にいがた」が1万2千部、「オアシス 21」「福祉にいがた」合併号が1万7千部で、県内の福祉関係機関や教育機関、公共施設などに送られています。

問い合わせは県社会福祉協議会企画広報課、025(281)5613へ。

社会福祉法人新潟県社会福祉協議会 機関誌広告基本料金表

区分	大きさ	掲載料（税込み）	
		モノクロ	カラー
全ページ	縦25.5cm×横17.0cm	154,000円	198,000円
//（裏表紙指定）		—	220,000円
半ページ	縦12.5cm×横17.0cm	82,500円	110,000円
//（裏表紙指定）		—	132,000円
2段	縦10.0cm×横17.0cm	66,000円	88,000円
1段	縦5.0cm×横17.0cm	33,000円	44,000円

※版下代は広告主の負担となります。



赤い羽根 情 報

令和7年度共同募金公告

社会福祉法第119条に基づき新潟県における令和7年度共同募金計画について、次のとおり公告します。

令和7年10月 社会福祉法人 新潟県共同募金会 会長 佐藤 明

1 募金募集の期間

- 一般募金 令和7年10月1日から令和7年12月31日まで
- 地域歳末たすけあい募金 令和7年12月1日から令和7年12月31日まで
- NHK歳末たすけあい募金 令和7年12月1日から令和7年12月25日まで
- テーマ型募金 令和8年1月1日から令和8年3月31日まで

2 募金の目標額 464,772千円

一般募金 362,049千円 地域歳末たすけあい募金 72,663千円 NHK歳末たすけあい募金 8,500千円 テーマ型募金 21,560千円

3 配分の範囲

新潟県内において、社会福祉事業、更生保護事業その他の社会福祉を目的とする事業を実施する者(国及び地方公共団体を除く。)とする。

4 配分の計画及び変更

配分要望のあった次に掲げる事業に対し、募金実績の範囲内において配分を行う。

(1) 一般募金の配分

①広域配分計画

●県広域社会福祉団体

(単位：千円)

配 分 先	配分予定額	使 途 内 容
新潟県社会福祉協議会	4,259	県民福祉大会等
新潟県ひとり親家庭福祉連合会	240	ひとり親向けメンタルヘルスセミナー
新潟県保育連盟	240	保育所問題研究委員会
新潟県身体障害者団体連合会	512	県身体障害者福祉大会等
新潟県老人クラブ連合会	295	市町村老連女性セミナー
新潟県肢体不自由児協会	184	ふれ愛作品展
新潟県保護司会連合会	240	研修事業等
新潟県民生委員児童委員協議会	200	研修事業等
新潟県精神保健福祉家族会連合会	216	精神保健フォーラムの開催
新潟いのちの電話	374	電話相談員養成事業
新潟県里親会	240	県里親大会等

●県広域社会福祉施設

配 分 先	配分予定額	使 途 内 容
大友中央保育園	1,500	車両の購入
上越市社会福祉協議会牧支所	1,240	車両の購入
頸城デイサービスセンターはながさの里	1,500	車両の購入
三条市社会福祉協議会	1,125	車両の購入
特別養護老人ホーム春風堂	1,500	車両の購入
障害者支援施設第二岩の平園	1,195	車両の購入
佐渡市社会福祉協議会羽茂支所	1,500	車両の購入
通所介護事業所いわはら荘	1,500	車両の購入
湯沢町社会福祉協議会	997	車両の購入
特別養護老人ホームかがやき苑	2,000	体育館修繕工事
特別養護老人ホームかんばらの里	2,000	特殊浴槽・電動ストレッチャーの入替
特別養護老人ホームはさぎの里	2,000	特殊浴槽・電動ストレッチャーの入替等
デイサービスセンター新潟あそか苑	2,000	特殊浴槽の入替
東小針認定こども園	841	デッキハウスの購入
特別養護老人ホームいずみ苑	2,000	電動ベッドの購入
特別養護老人ホームはやまの里	2,000	浴室介護移乗リフトの購入
ワークセンター小千谷市さくら	2,000	空調設備改修工事
保育所 加茂新田保育園	441	ガスレンジの入替
就労継続支援B型すばるワークセンター	1,942	トラクターの購入
新穂デイサービスセンター	1,773	ボイラー入替工事
特別養護老人ホーム第二胎内やすらぎの家	870	リハビリ機器の購入

●地域活動支援センター

配 分 先	配分予定額	使 途 内 容
地域活動支援センターピュアはーと他10団体	1,650	研修・交流事業等

●児童養護施設等就労支援

配 分 先	配分予定額	使 途 内 容
児童養護施設等に在籍する生徒等	6,635	運転免許取得費

●地域活動支援助成

配 分 先	配分予定額	使 途 内 容
塩谷区	896	暮らし安心事業

●新潟県遊技業協同組合福祉施設車両整備助成

配 分 先	配分予定額	使 途 内 容
障害者支援施設	3,000	車両の購入

●テーマ型募金支援

配 分 先	配分予定額	使 途 内 容
福祉団体等	2,000	活動費

●その他

配 分 先	配分予定額	使 途 内 容
災害等準備金積立金	13,500	災害時の活動積立金
災害見舞金	1,000	火災・水害の見舞金等
共同募金運動推進費	66,310	運動推進のための経費

●生活困窮者への緊急支援活動助成

配 分 先	配分予定額	使 途 内 容
福祉団体等	4,000	活動費等

●福祉活動緊急助成

配 分 先	配分予定額	使 途 内 容
福祉団体等	4,000	活動費等

②地域配分計画

配 分 先	配分予定額	使 途 内 容
地域福祉団体、社会福祉協議会等	44,050	高齢者への支援
	11,026	障害児(者)への支援
	22,299	児童・青少年への支援
	5,727	課題を抱える人への支援
	137,032	その他

(2) 地域歳末たすけあい

配 分 先	配分予定額	使 途 内 容
地域福祉団体、社会福祉協議会等	25,374	高齢者への支援
	1,627	障害児(者)への支援
	1,990	児童・青少年への支援
	1,200	課題を抱える人への支援
	42,472	その他

(3) NHK歳末たすけあい

配 分 先	配分予定額	使 途 内 容
福祉団体・難病患者支援団体等	8,500	車両整備等

(4) テーマ型募金

①あったか雪募金

配 分 先	配分予定額	使 途 内 容
除雪ボランティア団体等	3,000	除雪資材の購入等

②新テーマ型募金

配 分 先	配分予定額	使 途 内 容
フードバンクにいがた 他19団体	18,560	活動費等

※ 詳細な事業内容については赤い羽根データベースはねっと(<https://hanett.akaihane.or.jp/>)をご覧ください。



赤い羽根 情報

つながりをたやさない社会をつくるために



赤い羽根共同募金始まる

10月1日、今年も「赤い羽根共同募金」が全国一斉にスタートしました。第79回となる共同募金の県内目標額は4億6477万2千円で、募金は来年3月31日までです。

お寄せいただいた募金は、お住まいの町のさまざまな福祉活動、防災・減災のために活用されます。今年も温かい善意とご協力をお願いします。

中央共同募金会が作成したポスターⅡ写真Ⅱには「支える人

を支える募金」というメッセージが記されています。

さらに「あなたの町には、誰かの困りごとを自分のことのように考え、行動する人たちがいる」として、困っている人を支える活動資金に赤い羽根共同募金が使われることをアピール、募金の大切さを訴えています。

共同募金運動は「つながりをたやさない社会づくりあなた一人じゃない」を全国共通助成テーマに展開されます。

「募金百貨店」約120万円 ウオロクHD、県共募へ寄付

「募金百貨店プロジェクト」第14弾（5月5日～6月29日実施）で集まった募金約120万円を新潟県共同募金会へ贈る贈呈式が8月25日、新潟市中央区の株式会社ウオロクホールディングス（HD）本社で行われま



「募金百貨店プロジェクト」の贈呈式に出席した葛見久賢・ウオロクHD社長（左から2人目）、佐藤明・県共同募金会会長（同3人目）ら

した。

このプロジェクトは、スーパーのウオロク各店舗で対象商品のサントリー飲料を購入すると1本につき1円が共同募金に寄付される仕組みです。

贈呈式ではウオロクHDの葛見久賢社長が県共同募金会の佐藤明会長へ寄付金120万1767円の目録を手渡しました。

葛見社長は「お客様が普段通りに買い物をし、気づけば寄付を通じて誰かの役に立っていることをより良くするために活用していただきたい」とあいさつ。

佐藤会長は「これまでの寄付総額は1213万277円となり、貴重な浄財をいただきありがとうございます。社会的に弱い立場にある人々を支えるために、有効に活用させていただきます」と述べました。

一つ目の視点は、「制度間福祉の包括化」。縦割り行政で

は、個々の課題に特化した支援はできて、その背後にある「生きづらさ」全体を捉え、横断的に支援することは困難がある。一つの相談窓口で多岐にわたる課題を受け止め、関係機関や専門家と連携しながら、その方の人生全体に寄り添う支援を組み立てていく必要がある。

社と地域福祉の重層化」。公的支援制度だけで、すべての課題を解決することは至難である。公的な支援が届きにくい、あるいは制度の対象外となる方にとって、本当に必要なのは、近隣住民による温かい見守りや、共に活動できる「居場所」だったりする。この「制度」という土台の上に、地域住民が持つ「支え合う力」を重ね合わせる。これにより、個別の課題解決に留まらず、住民自身が課題解決の主体となる「地域づくり」へ昇華させることができる。

社協の強みは、地域に根差したネットワークと、住民の「支え合いの力」を生かせる点にある。私たち社協は、この「包括化」と「重層化」という二つの柱をもとに、行政や専門職だけでなく、地域住民一人ひとりの参画があつてこそ成り立つことを強調したい。その結節点として、誰も孤立させない温かい地域づくりを目指すことが役割なのかもしれない。（貴浩）

のかもしれない。
（貴浩）

※県社会福祉協議会スタッフが、日々の体験や思いなどをつづります

では薬物乱用の危険性をホームページで広報するほか、ポスターを掲示したりパンフレットを配布したりして、広く県民に注意を呼び掛けしていく方針です。



多くの参加者が詰めかけた「ぼうさいこくたい」と「にいがた防災産業展」の会場



新潟の経験を次世代に

国内最大級の防災イベント「ぼうさいこくたい」と、併催イベントの「にいがた防災産業展」が9月6日と7日の2日間、新潟市中央区の朱鷺メッセ周辺で開かれました。

「ぼうさいこくたい」が新潟県で開かれるのは初めて。全国の自治体、防災関連団体、研究機関、企業など合わせて470団体以上が出展。新潟地震や中越地震など数多くの自然災害を経験した新潟の教訓を次世代に伝えようと、さまざまなセッションやワークショップが行われました。

2日間で約1万8000人が来場し、子ども連れの姿も目立ちました。



そなえの大切さを楽しく学んだワークショップの一コマ



地震や降雨を体験するコーナーには順番待ちの列ができた



トレーラーハウスと TENT を組み合わせて災害現場に臨時診療施設も



少ない力で人を背負える「おんぶショイコ」を使ってみせるスタッフ

地域挙げ支援の輪を広げよう

第四北越証券と明治安田AM 県社協などに寄付



「にいがたの架け橋」と「グローバルにいがた」の寄付贈呈式

投資信託「にいがた未来
応援日本株ファンド」（愛
称・にいがたの架け橋）を
販売する第四北越証券と、
設定・運用する明治安田ア
セットマネジメント（AM）
が9月3日、新潟県と、県
社会福祉協議会など福祉4
団体に計約4254万円を
寄付しました。

両社はさらに「にいがた
未来応援グローバル株式
ファンド」（愛称・グロー

カルにいがた）から約19
23万円を県と2公益財団
法人に寄付しました。

「にいがたの架け橋」か
ら寄付を受けたのは、県社
協のほか県看護協会、県ひ
とり親家庭福祉連合会、県
フードバンク推進協議会。
「グローバルにいがた」
から寄付を受けた公益財団
法人は、ブルボン吉田記念
財団と県国際交流協会で
す。

贈呈式がこの日、新潟市
中央区の新潟ユニゾンプラ
ザで行われ、第四北越証券
の今村博社長と明治安田A
Mの中谷友行社長が「皆さ
まのおかげで全国有数の
ファンドに成長できた。今
後も支援の輪が広がり地域
貢献できることを願ってい
ます」とあいさつ。

県社協の高井盛雄会長が
「子どもたちが夢を描き実
現するために寄付を活用し
ていきたい」と感謝の言葉
を述べた後、各団体の代表
もそれぞれ謝辞を述べまし
た。

パレット新潟店営業日



2025年 10月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

営業時間 11:30～16:30 □…は休業日

2025年 11月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

福祉の店
パレット情報

編集後記

「この仕事は正解がないから難しい」。今号4ページ「福祉の現場」の取材で、県ひとり親家庭福祉連合会の就業支援員・坂井忍さんからその言葉を聞いた時、「そうなんですよね!」と、思わず身を乗り出しました。

それぞれ異なる状況を抱えた相談相手への対応に絶対の正解はなく、手探りの毎日だと坂井さんは言います。「これでよかったのかと反省し、どうすればいいかを考えながら成長していきたいです」という言葉に実感がこもっていました。

仕事の内容は違いますが、筆者も絶対の正解がない難しさを常々感じています。不特定多数の読者に向けて発信しているこの機関誌。「多くの人に関心を持ってもらえる内容か」「事実を正確に分かりやすく伝えているか」「取材相手が伝えていることを的確にくみ取っているか」「だれかを傷つけるような表現をしていないか」…書いた記事を何度も読み返してチェックを重ねても、迷いや不安が完全に消えることはありません。

もっとも、絶対的正解が存在する事柄は世の中にそう多くはないのかもしれない。答えの出ない、いろいろな問題に目を向けて、「ベスト」は無理でも「ベター」を見出す道筋を読者と一緒に探ることが本誌の役割なのかなと、漠然と考えています。

(橋)

「福祉にいがた」へ ご意見感想、情報をお寄せください

◆TEL 025 (281) 5613
◆FAX 025 (281) 5528
◆Eメール kikaku@fukushiniigata.or.jp

◆新潟県社会福祉協議会企画広報課
〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2
新潟ユニゾンプラザ3階

お待ちしております

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5584
発行人／伊野 智彦
定 価／5円（会員の購読料は会費に含む）

福祉にいがた
令和7年10月1日発行（毎月1日発行）
印刷／島津印刷株式会社